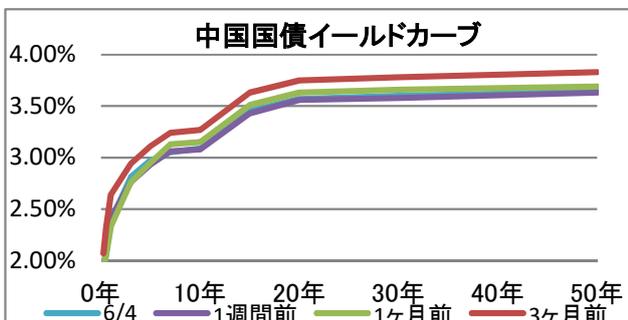
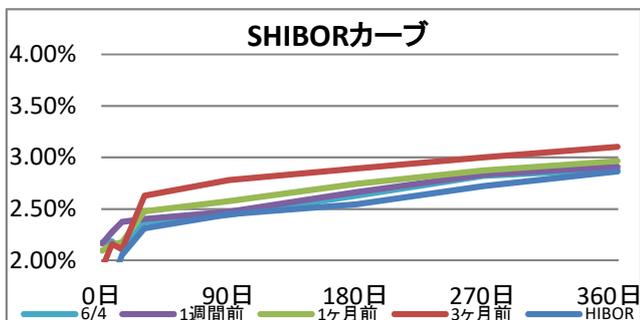


①市場概況

基準レート		2021/6/4	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4072	0.0214
	JPY/CNY	5.8099	-0.0011
SHIBOR	3M	2.4440%	-0.0320%
国債利回り	10年	3.09%	+0.01%
上海総合指数		3,591.84	-8.94



(1) 概況

ワクチン接種の進む先進国を中心に経済回復への期待と金融緩和政策縮小への懸念が綱引き状態が続く中、米国雇用統計、G7財務相会合等の注目イベントを控え、金融緩和政策の当面維持への期待を背景に波乱のない展開となった。

中国金融市場は、株式市場は経済指標が予想を下回ったことから金融緩和政策縮小への懸念が和らぎ上伸したものの、高値警戒感や人民元高抑制政策から下落に転じ、米国による中国企業上場証券に対する投資禁止令拡大により債券利回り低下も一服し、ドル人民元も一時6.36台の高値から6.40台に反落している。中国初のREITに個人投資家の申し込みが殺到し、配分率は記録的な低水準になった模様。

中国では、マクロ政策として子供3を人まで容認する方針が示され、人民元高抑制策として外貨預金準備率の14年ぶりの7%への2%引き上げやQDII増額を決めている。米国はイエレン米財務長官と劉副首相のテレビ会談後に中国投資禁止令を拡大する大統領令を公表したが、この間も中国政府はJPモルガンの中国合弁会社の完全子会社化申請受理や他の規制緩和策実施を決めて開放政策姿勢を明確にしている。

(2) 金融市場調節

リバースオペ期日500億元に対し、中国人民銀行はリバースオペによる日々100億元の資金供給を継続して同額を供給している。また、700億元の中央国庫現金管理商業銀行定期預金を6月9日に募集する通知が出されている。

(3) 主な経済指標

・国家統計局PMI (5月) は、製造業が51.0 (4月51.1)、非製造業が55.2 (同54.9)、総合では54.2 (同53.8)。製造業では前月比で生産が加速する一方で受注が減速し、雇用が悪化している。

・財新PMI (5月) は、製造業が51.9 (4月52.0)、サービス55.1 (同56.3)、総合で53.8 (同54.7) と、雇用を含めて総じて堅調ながら、製造業では生産が、サービスでは新規受注が、それぞれ高水準ながら前月比では減速している。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.1750%	2.2300%	2.2000%	
1W	2.1870%	2.2000%	2.6000%	2.0500%
2W	2.1100%	2.2000%	2.6000%	2.0000%
1M	2.3770%	2.3800%	2.3500%	2.3500%
3M	2.4440%	3.8500%		2.4000%
6M	2.6290%			2.5600%
9M	2.8210%	3.5000%		2.7600%
12M	2.8870%	4.0000%		2.8400%

月初とあって資金余剰から金利水準の低下を予想していたものの、四半期末を控えていることもあってか足下の需給はややタイトとなって金利水準も下げ渋る展開となった。ただし、ターム物の出合いは引き続き1ヶ月が2.30%前後で取引されているのを除き限定的であり、SHIBORの金利水準の低下も続いている。

NCDも、経済指標が予想を下回ったこともあって長めの期間を中心に活発な取引が続いて金利水準も低下傾向を維持していたものの、週後半には資金需給への懸念等から下げ止まる展開となった。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.35%を前後、3ヶ月物が2.40%、6ヶ月が2.55%、1年が2.85%前後で取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.02%	0.03%
1M	0.07%	0.08%
3M	0.18%	0.20%
6M	0.30%	0.35%
12M	0.38%	0.40%

元高一服や外貨準備預金率引き上げの影響もあって一部では足下の資金需給がややタイトな状況との話も聞かれたものの、週後半になるとターム物が出合うようになり、その水準は、1ヶ月は0.08%、3ヶ月は0.20%、6ヶ月は0.30%前後と引き続き低水準となっている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.85%	2.05%	2.36%	2.53%	3.06%
6M	2.07%	2.21%	2.54%	2.66%	3.20%
1Y	2.39%	2.50%	2.83%	2.92%	3.43%
3Y	2.81%	3.02%	3.17%	3.31%	4.01%
5Y	2.97%	3.19%	3.46%	3.64%	4.45%
10Y	3.09%	3.42%	3.85%	3.94%	4.78%

債券市場では、経済指標が予想を下回ったことから金融緩和政策縮小懸念が和らいで利回りが低下していたものの、月初にもかかわらず翌日物金利が上昇していたことや政府の元高抑制対応に加え、米国による投資禁止令拡大による国外投資家の中国債券投資姿勢の変化に対する懸念もあって利回り低下が一服する展開となった。

イーロードカーブは、金融緩和政策修正懸念が和らぎ、上記からリスク回避姿勢が強まる状況となって短期の国債に資金が向かったことから、前週のベアフラットニングからスティーピングに転じており、クレジットスプレッドも短期で拡大することとなった。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	26.0 / 26.2
1M	120.1 / 120.5
3M	367.0 / 368.0
6M	745.0 / 749.0
9M	1128.0 / 1132.0
12M	1510.0 / 1515.0

対ドル基準レートは、6.4072と前週末比+214pipsのドル高元安、対円基準レートは5.8099と同-11pipsの円安元高に設定され、中国政府の元高抑制策により対ドルでの元高に歯止め。国内市場では週初に6.36台の3年来の元高水準となっていたものの、外貨預金準備率引上げや政府高官の元高けん制発言に加え、QDII増額等によるアナウンスメント効果もあって元安に転じ、6.40台まで戻している。

先物は、国外からの投資資金流入圧力が低下し、人民元金利の低下が一段と進んだこともあり、スワップ幅の縮小が続いており、1年物が4ヶ月ぶりに一時1400台で取引されていた。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.34%		2.08%
6M	2.41%	2.59%	2.10%
9M	2.47%	2.72%	2.13%
1Y	2.51%	2.80%	2.18%
3Y	2.74%	3.16%	2.40%
5Y	2.92%	3.41%	
7Y	3.05%	3.57%	
10Y	3.19%	3.74%	

スワップ金利は前週から上昇を続けているものの、上昇幅は引き続き限定的となっている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、前週はやや債券利回りの上昇に対して出遅れて縮小していたこともあって、今週は債券利回りを上回る上昇となって小幅ながら拡大に転じている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。